

博物館経営論

(解答はすべて解答用紙に記入し、この問題用紙に記入しないこと。)

1. 文化施設や博物館の経営に関する以下の説明について、各文の空欄に選択肢から適切な語句を選び、文を完成させなさい。(各2点)

(1) 文化施設のマネジメントは多岐にわたり、

- 1 経営管部門では総務、(①) など
- 2 事業管理部門では自主事業、(②) など
- 3 技術管理部門では照明・音響・ホール舞台操作、(③)の管理など
- 4 施設維持管理部門では営繕・保安・警備、清掃衛生管理、(④)、収蔵庫の保存環境管理)など
- 5 広報宣伝部門では(⑤)、ポスター、出版、パブリシティ、メーリングサービスなど
- 6 顧客管理・サービス業務では友の会、(⑥)業務、安全対策、受付・案内・接客・来場者・鑑賞者の管理、テナント管理など

があると言われている。ミュージアムにはこれらに加えて、(⑦)機能や収集機能、教育機能などが加わり、学芸部門や展示・教育部門がミュージアム独特の業務を遂行している、と言われている。

(2) PFI (Private Finance Initiative) とは、民間の資金と(⑧)を活用した社会資本整備をさす。公共施設の建設・維持管理・運営などに、民間の資金、経営能力および技術能力を活用することにより、同一水準のサービスをより安く、または同一価格にてより上質のサービスを提供する手法。「民間資金などの活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律(PFI 法:平成11年7月制定)に基づき実施するものである。目的としては、民間の資金、ノウハウの活用により、公共施設などの整備にかかるコストの縮減があげられる。2011(平成23)年6月と2013(平成25)年6月に改正が行われ、真に必要な社会資本整備を公的資金のみでなく、民間活用により経済活性化ならびに経済成長を実現するものである。改正後は民間資金等活用事業推進機構を設立し(⑨)への民間投資を喚起し、財政負担の縮減や民間の(⑩)の創出を図る。

経営ノウハウ	ウェブサイト	指定管理者制度	事業機会
空調・冷暖房	図書	財務	チケット
研究	調査企画	展示室	学校連携
インフラ事業	資金		

2. 2015年11月、パリにて採択されたUNESCOの「ミュージアムとコレクションの保存活用、その多様性と社会における役割に関する勧告」における「Ⅲ. 社会におけるミュージアムにとっての課題」の①～⑩の（ ）について、最も適切な語句を記入し、文を完成させなさい。（同じ番号のところには、同じ語句が入る。）（各2点）

Ⅲ. 社会におけるミュージアムにとっての課題

グローバル化

13. グローバル化はコレクションや専門家、来館者、思想の（ ① ）をもたらし、（ ② ）の増加と世界の均質化の進行に見られるようにミュージアムにプラスとマイナスの影響を与えている。加盟各国は、グローバル化した世界のなかでのミュージアムの（ ③ ）を縮小させることなく、ミュージアムやコレクションを特徴づけている（ ④ ）や独自性を保護する措置を促進すべきである。

経済およびクオリティ・オブ・ライフとミュージアムの関係

14. 加盟各国は、ミュージアムが社会において経済的な役割を演じることや、（ ⑤ ）を生む活動に貢献しうることを認識すべきである。加えて、ミュージアムは、（ ⑥ ）に関係して、所在地周辺の地域社会や地方のクオリティ・オブ・ライフに貢献するような生産的な事業を行っている。より一般的には、ミュージアムはさらに、社会的弱者の（ ⑦ ）を増進することもできる。

15. 収入源を多様化し、（ ⑧ ）を高めることを目的として、多くのミュージアムは、自ら進んで、あるいは必要に迫られて、（ ⑤ ）を生み出す活動を増やしてきている。加盟各国は、ミュージアムの（ ⑨ ）を損ねてまで、収入の創出に高い優先度を与えるべきではない。加盟各国は、ミュージアムの（ ⑨ ）は、社会にとって何よりも重要なものであり、単なる（ ⑩ ）には換算しえないことを認識すべきである。

収入	持続性	観光経済	財政的価値	主要機能
役割	流動性	社会包摂	多様性	アクセシビリティ

3. 博物館の予算において、科目の名称の差異はあるが、経常的に掛かる費用として「管理費」、展示等の開催に掛かる「事業費」等が挙げられる。この他に掛かる経常的な費用または毎年支出されないがある時に特別に掛かる費用等を**2つ挙げて**、それぞれを100字以内で説明しなさい。なお、費用の名称(科目)については、任意で良い。
(各10点)

4. 博物館の組織において、トップマネジメントである館長は、組織内部から経験や実績を重ねて昇進するケースと、組織外部から招聘された者が就任するケースの2つがある。この**2つのケースのそれぞれにおける**メリットはどのようなことが考えられるか、100字以内で説明しなさい。なお、設置主体からの出向者等は内部として考える。また当該館の関係者は外部から除く者とする。(各10点)

5. 平成20年6月に行われた博物館法改正において、博物館運営に関する評価の努力義務規定が設けられ、全ての博物館において評価に前向きに取り組むことが期待され、可能な限り、外部の視点を取り入れることが求められている。日本博物館協会が行った「博物館評価制度等の構築に関する調査研究」(平成21年3月)では、「博物館評価に関する課題と今後の取組み」として以下の4項目が挙げられている。

- ①評価に対する理解の促進・情報の共有
- ②方法の確立と共有
- ③評価による改善の促進
- ④設置者との関係

この博物館経営にとって重要な博物館評価に関する課題に関して、以下の各問いについて博物館経営論の立場から200字以内で説明しなさい。

(1)「①評価に対する理解の促進・情報の共有」としては、どのような内容が考えられるか。(10点)

(2)「④設置者との関係」では、どのような内容が考えられるか。(10点)